

令和5年度第2回関東学生ホッケー連盟役員会議事録

期日：2023年3月24日（金）

時間：19時30分～20時47分

場所：オンライン会議にて開催

出席者：一川邦彦（副会長）、関谷淳一、塩野谷住雄（以上監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、下平歩実、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、栗原崇（以上常任理事）、福島諒太（学連委員長）、関本隼（副委員長・コンプライアンス委員長）、味方まひろ（表彰委員長）、宮瀬幸希（競技委員長）、川勝浩輝（審判委員長）、内村拓人（広報委員長）、金子桃子（財務委員長）、扇原柚子（書記）

【審議事項】

1. インカレ日程、及び使用会場について

- ・一川副会長より、インカレ日程及び使用会場について、アメニス、ラクロス協会との折衝結果の報告があった。希望した5日目のメイン確保は難しいとの結論。
- ・福島委員長より、日程変更・サブを中心とした大会運営に伴う課題について説明があり、来賓スペースの確保、3位表彰の場所、大会運営者の控室確保、UNIVAS 放送機材確保、および JADA 実施の場合は部屋が用意できない（検査車両を手配いただく）等を協議した。
- ・協議の結果、JHA 意向に沿って、インカレは、11/8～11/12 にて開催することを決定した。また4日目・5日目は、サブピッチでの開催とした。
- ・なお、一川副会長より「11/7～11/10 は一般予約の必要があること（5/1 に予約）」「サブの前のスペースは公園緑地になるので、大田区等に申請が必要になること（手続きが煩雑になる可能性があるため早めの申請要）」等の説明があった。また来年のインカレの優先予約は6/30 までに申請が必要のため、JHA に日程を確認要との説明があった。
- ・以上を踏まえ、インカレ実施要項の作成、インカレ実行委員会の立ち上げを進めることとした。

2. 物価の高騰に伴うパンフレット（春季リーグ）の会場販売価格見直しについて

- ・内村広報委員長より、パンフレットの製作コストの上昇により、会場販売価格の値上げが提案された。なお、パンフレットの製作価格はまだ見積もり中であるが、消費者物価指数を参考にすると、5%前後を予測すると報告があり、協議を行った。
- ・見積もりについては事前に確認のうえ、発注すべきであり、今後注意することを確認した。
- ・「発注先の見直し」「リーグ戦出場校へ配布するパンフレット数の見直し（現状は、部員数に加え10冊まで無料）」「会場販売価格は、小銭等が発生すると管理上の問題があるので1000円が妥当ではないか」との意見があった。
- ・最終決定は、広報普及委員会での協議結果に委ねることとした。

【報告/連絡事項】

1. 日学連役員会（3/15 開催）議事内容の報告

- ・久我理事長より、日学連役員会（3/15 開催）議事内容の報告があった。主な内容は以下の通り。
 - ・（2022年インカレ）第71回男子・第44回女子全日本学生ホッケー選手権大会決算について、説明し、承認された。また赤字解消のための方策が検討され、参加費の増額（5万円）が提案された。
 - ・（2023年インカレ）第72回男子・第45回女子全日本学生ホッケー選手権大会日程変更の理由が説明

され、11月8日～12日の案で承認された。12日のメインが確保できなかった場合、11日、12日はサブでの実施とすることが確認された。

- ・日本学生ホッケー連盟一般社団法人化については対応が遅れており、年度内である3/31までに設立し、その後詳細を詰めることとした。

- ・(Bインカレ) 第22回全日本大学ホッケー大会(9月1日～3日) 主管学連は関西学連とし、9月8～9日で実施することとなった。

- ・2024年度新規事業提案として、全国大学リーグ案の提示があった。今後、各地区学連で協議し、対応方針を決定する予定。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 福島 諒太